

# 知識と語学力を生かして 医療通訳として外国人の サポートをしたい

## 堀江 吉美 さん

中華人民共和国 江蘇省蘇州市出身。永平寺在住。  
中国で夫と出会い、結婚を機に来日。地域の行事に積極的に参加し、  
現在は医療通訳やビジネスマーケティングについて勉強中。



### — 福井に来られた経緯は？

何回か仕事で福井に来たことはあったんですが、2010年4月から福井に住むようになりました。

元々は、中国・蘇州にある日本碍子（日本ガイシ）という会社で秘書として働いていました。日本人従業員が十数名いたので、時々通訳もしていました。

私の夫は日本人なんですが、中国で日本企業の工場長として働いていました。彼と知り合って結婚して、しばらくは中国にいたんですが、夫が日本に帰るタイミングで、私も日本に来ました。

### — 地域での活動について

私は永平寺町の上志比に住んでいますが、周りの方々はみんな親切ですね。班でのゴミ拾いとかにもよく参加します。

2018年の大雪のときに、町内会の班長をやりました。集落センターの雪かきを男性の方々がやっていて、私は甘い饅頭とか餃子を作って、持って行きましたね。

私の故郷の蘇州では雪は降りますが、すぐに溶けるので、福井ほどではありません。

### — 福井のオススメの場所は？

永平寺ですね。中国の寧波（ニンポー・中国東部の古い歴史を誇る都市）に行ったことがありますが、寧波の天童禅寺も立派でしたね。でも、永平寺は山の中にあって、天童禅寺は平地にありますから、ちょっと違いますよね。

あとは、越前海岸とか東尋坊とかですね。日本海側を車でドライブしながら美しい景色とか水仙が咲いているのを見るのが好きですね。中国とは少し海の色が違うんですよ。青島（チンタオ・中国東部の港湾都市）はありますが、福井の方がきれいですね。

### — 福井の好きな食べ物はありますか？

海の幸、山の幸は何でも美味しいですね。よく行くのは永平寺町松岡の「けんぞう蕎麦」です。ちなみに私の故郷の蘇州では、四川とか上海料理とか辛いモノ、酸っぱいモノをよく食べます。

福井の料理の方が、あっさりしていて、健康的で安心できます（笑）。

一番好きな福井の幸は、越前ガニですね。毎年食べています。たくあんも作りますね！家に畑があって、大根を作っているのので、塩漬けにして作っています。ご近所さんにおすそ分けもします。

あと、蒸し器を持っているので饅頭も作ります。何時間も生地を膨らませて寝かせるんです。地域の祭りに小籠包も作りますよ！

### — 日本人について不思議に思うこと

未だに分からないことがいっぱいあります（笑）。日本のしきたり、日本人との付き合い方、繊細さ、気の使い方とかまだ分からないんですよね。私は大雑把だから（笑）。

そういう日本人のルールって、小さいときから日本の学校に通うことによって、だんだんと身につけていくものなんでしょうね。外国人にとって、勉強の内容も違うし、学校の規則とか友だちとの付き合い方も違うので大変ですね。

日本人は、物事をハッキリと言わないですよね。顔の表情とか言葉の裏を読んだりとか。「いいです。」の意味も多くて難しいです。何かを認めるときにも使いますし、断るときにも使うので。中国人の方が「イエス・ノー」をハッキリ使い分けます。

日本人はどう考えているのか分からないときがあります…。



## — お休みの日は何をされていますか？

ボランティア活動をしたり、お買い物をしたりとかですかね。最近では、通信講座で勉強しているので忙しいですね。

## — 何の勉強をされているんですか？

診療情報管理士という資格の勉強をしています。日本語の試験なんですけど、日本語と中国語の両方で学んでいます。両方の言語で理解することは、医療通訳の勉強にもなります。

それと、ビジネスマーケティングの資格も取ろうと思っているんですよ。2018年に医療通訳1級の認定資格を取ったんですけども、医療通訳としての仕事は、外国人が多い神奈川とか東京とか都市圏の方が需要があって、福井での仕事はなかなか無いんです。ですから、様々な資格を取って病院で働けるように頑張ります。

## — 医療通訳について

昔は医療通訳の勉強を県国際交流会館でやって、12時ぐらいからみんなで中華料理を食べに行ったのが楽しかったですね。

国際交流協会が無かったら、今の私はないですよ。昔、国際交流協会の事業で、医療通訳スキルやプライベート、倫理などについての講習がありました。

中国で医療経験のある先生がいらっやって、診察場面を想定して、胃カメラを使った診察のロールプレイなどをしました。それで1年間勉強して、2013年に医療通訳の資格を取りました。

今もオンラインで医療通訳のセミナーに参加しています。こういうセミナーの情報はネットで調べても見つかりませんが、協会の通訳ボランティアに登録していると、メールで案内が来るのでいいですね。

## — コミュニティリーダーになったキッカケは？

最初、国際交流協会の方から連絡をもらったり、永平寺町役場の人から頼まれたりしたんです。それで、そのときは時間に余裕もあったし、やろうかなと思いました。今みたいに勉強で忙しかったら、引き受けてなかったかも（笑）。

## — どんな相談をよく受けますか？

子どものことに関する通訳の依頼や相談事が多いですね。小学校の児童の親が中国人のときには、通訳として学校と親子の間に入ります。普段の会話ができても、親がヒートアップすることがあるので、通訳として冷静にさせることも必要です。

大学病院でボランティアもしています。福井では医療通訳としての仕事は少ないんですが、病院内で来院者の案内や雑用なんかをします。最近ではコロナの影響でボランティアを頼めないらしく、病院も困っているようです。永平寺に住んでいるので、大学病院をはじめ、地域の役に立ちたいと思っています。

## — 情報のやり取りはどのようにしている？

大雪、地震、コロナウイルスの情報などは、県の国際交流協会からFacebookなどを通じて送られてきます。コミュニティリーダーは、国際交流協会からの情報を翻訳して、外国人のグループで共有します。中国のコミュニティリーダーは月ごとに担当を決めています。ちなみに私は中国のWeChatというアプリを使っていて、400人以上の人が見ることができます。有事の際は、国際交流協会がすぐに情報を流してくれるので、みんないち早く知ることができて便利です。

最近ではテレビをつけることも少なくなっていて、スマホで情報を得ることが多くなりました。SNSを使うのが一番効果的ですね。

## — WeChatグループについて

WeChatはほとんどの中国人が使っています。私が参加しているグループは4つくらいあって、それぞれ400、400、100、96人ずつぐらいいて、他県に住んでいる中国人も参加しているので全体で1000人ぐらいになります。

子育てのグループ、防災、総合的な情報共有とか、グループごとに役割が違います。（右の写真：実際にWeChatグループに送られたメッセージ）



## — コミュニティリーダーとしての苦勞は？

通訳の仕事が多いんですけど、専門用語が難しいですね。現場によって専門用語が異なります。病院なら医療、学校なら教育の専門用語を事前に調べておかないといけないので大変です。



福井県国際交流協会主催「医療通訳サポーター勉強会」  
(堀江さんは、左から4番目)

インタビュー日：2021年3月19日

## ◎ふくい外国人コミュニティリーダーとは？

「外国人県民が安心して暮らせる福井」を目指し、外国人県民等のネットワークを活かし、県内の外国人コミュニティに生活・災害情報を届けたり、日本人県民とのコミュニケーションの橋渡しや災害時の自助・共助等の担い手としてご活躍いただいています。詳しくはこちら⇒

